

2025年3月期 決算短信〔日本基準〕(連結)

2025年5月14日

上場会社名 コージンバイオ株式会社 上場取引所 東
 コード番号 177A URL <https://kohjin-bio.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 中村 孝人
 問合せ先責任者 (役職名) 常務執行役員 (氏名) 平田 賢二 (TEL) 03-5784-2272
 定時株主総会開催予定日 2025年6月27日 配当支払開始予定日 2025年6月30日
 有価証券報告書提出予定日 2025年6月24日
 決算補足説明資料作成の有無 : 無
 決算説明会開催の有無 : 有 (証券アナリスト・機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2025年3月期の連結業績(2024年4月1日~2025年3月31日)
(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期	5,206	9.1	991	66.1	1,065	67.6	794	106.4
2024年3月期	4,770	0.6	596	△52.9	635	△48.9	384	△53.6

(注) 包括利益 2025年3月期 843百万円(108.8%) 2024年3月期 403百万円(△52.1%)

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後1株当たり当期純利益	自己資本当期純利益率	総資産経常利益率	売上高営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2025年3月期	157.57	—	17.4	13.6	19.0
2024年3月期	92.43	—	12.1	10.0	12.5

(参考) 持分法投資損益 2025年3月期 98百万円 2024年3月期 71百万円

(注) 潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式が存在していないため記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2025年3月期	9,066	5,781	63.8	1,131.12
2024年3月期	6,589	3,342	50.7	802.50

(参考) 自己資本 2025年3月期 5,781百万円 2024年3月期 3,342百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動によるキャッシュ・フロー	投資活動によるキャッシュ・フロー	財務活動によるキャッシュ・フロー	現金及び現金同等物期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2025年3月期	915	△1,090	1,376	2,949
2024年3月期	823	△577	△1	1,726

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額(合計)	配当性向(連結)	純資産配当率(連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
2024年3月期	—	—	—	14.00	14.00	58	15.1	1.8
2025年3月期	—	0.00	—	24.00	24.00	122	15.2	2.5
2026年3月期(予想)	—	0.00	—	25.00	25.00		15.5	

3. 2026年3月期の連結業績予想(2025年4月1日~2026年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭	
通 期	5,679	9.1	1,065	7.5	1,135	6.6	822	3.5	160.85	

※ 注記事項

(1) 期中における連結範囲の重要な変更 : 無
 新規 -社(社名)- 、除外 -社(社名)-

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
 ② 期末自己株式数
 ③ 期中平均株式数

2025年3月期	5,111,600株	2024年3月期	4,165,000株
2025年3月期	一株	2024年3月期	一株
2025年3月期	5,044,011株	2024年3月期	4,165,000株

(参考) 個別業績の概要

1. 2025年3月期の個別業績(2024年4月1日~2025年3月31日)

(1) 個別経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期	4,560	3.9	726	63.2	702	71.7	509	140.1
2024年3月期	4,391	△0.4	445	△61.1	409	△63.3	212	△71.8
	1株当たり 当期純利益		潜在株式調整後 1株当たり当期純利益					
	円 銭		円 銭					
2025年3月期	100.93		—					
2024年3月期	50.90		—					

(注) 潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式が存在していないため記載しておりません。

(2) 個別財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭	
2025年3月期	8,033	61.6	4,951	61.6	4,951	61.6	968.65	
2024年3月期	6,023	47.2	2,845	47.2	2,845	47.2	683.18	

(参考) 自己資本 2025年3月期 4,951百万円 2024年3月期 2,845百万円

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料4ページ「1. 経営成績等の概況(4) 今後の見通し」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	3
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	3
(4) 今後の見通し	4
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	5
3. 連結財務諸表及び主な注記	6
(1) 連結貸借対照表	6
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	8
連結損益計算書	8
連結包括利益計算書	9
(3) 連結株主資本等変動計算書	10
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	11
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	12
(継続企業の前提に関する注記)	12
(セグメント情報)	12
(1株当たり情報)	14
(重要な後発事象)	14

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度におけるわが国経済は、円安を背景とする訪日外国人数が過去最高の水準となったことから、インバウンド消費が復調し、また、雇用や所得環境の改善、設備投資の持ち直しなどの動きも見られ、景気は緩やかな回復基調となりました。

一方で、不安定な国際情勢、エネルギーコスト上昇や原材料価格の高騰に伴うインフレ懸念に加え、2025年1月に発足した米国トランプ政権による政策転換の影響が見えず、先行きは不透明な状況で推移いたしました。

このような経済状況の中で、当社グループは感染症対策や再生医療の発展のために、経営理念に掲げる「顧客第一主義・品質第一主義」のもと、全従業員がグループ全体の更なる成長とステークホルダーへの貢献に努めております。

当連結会計年度におきましては、国内外で再生医療市場の拡大が続いていることから、細胞培養用培地の売上が増加いたしました。また、新型コロナウイルスが5月から感染者数が増加、7月に感染拡大のピークとなり、さらに11月から年末に向けてインフルエンザウイルス感染者数の急増と新型コロナウイルス感染者数の増加が同時に発生したことから、関連製品の販売が大きく増加いたしました。なお、同感染症関連製品については前連結会計年度に関連棚卸資産の評価損218百万円を計上しておりましたが、前述の事由により販売数量が増加したことから当連結会計年度において207百万円の戻入を行っております。一方、基幹システム変更に伴う支払手数料の増加等により販売費及び一般管理費が増加いたしました。利益につきましては概ね計画どおりとなりました。

以上の結果、当連結会計年度の売上高は5,206百万円（前年同期比9.1%の増加）となり、営業利益は991百万円（前年同期比66.1%の増加）、経常利益は1,065百万円（前年同期比67.6%の増加）、親会社株主に帰属する当期純利益は794百万円（前年同期比106.4%の増加）となりました。

なお、各セグメント別の業績は、以下のとおりであります。

(組織培養事業)

当連結会計年度における組織培養事業は、国内外で再生医療の研究開発や臨床試験が活発に実施されており、ここで使用される細胞培養用培地の販売数量が増加いたしました。また、日本では自由診療による再生医療を受けるインバウンド患者数が高水準となっていることから、この分野で使用される培地の需要が増加しており、中国を中心として、アジア圏で細胞治療用培地の販売数量も増加いたしました。

これら再生医療市場の拡大を背景に、新規顧客からの培地の製造受託や既存顧客からの新たな製造受託案件も増加しており、同事業は順調に推移いたしました。

この結果、売上高は2,268百万円（前年同期比19.1%の増加）、セグメント利益（営業利益）は765百万円（前年同期比25.6%の増加）となりました。

(微生物事業)

当連結会計年度における微生物事業は、期中に新型コロナウイルス、及びインフルエンザウイルスの感染者数が増加したことにより、関連製品の販売が大きく増加、特にドラッグストア等で販売される一般用製品の売上が増加しました。加えて、同感染症関連製品について前述の事由により、当連結会計年度において関連棚卸資産の評価損207百万円の戻入を行っております。また、病院等の臨床細菌検査市場はこれまでと大きな変動はなく、製薬企業等の産業細菌検査市場は、競合する海外輸入品に対し安価で安定供給が可能な当社グループ製品のシェアが拡大しております。

この結果、売上高は1,781百万円（前年同期比7.6%の増加）、セグメント利益（営業利益）は441百万円（前年同期は69百万円のセグメント損失）となりました。

(細胞加工事業)

当連結会計年度における細胞加工事業は、細胞加工製品の原材料の見直しにより、期中に製品の販売を一時見合わせていたことから、同製品群の売上が期初計画を大きく下回りました。なお、同製品の販売は2025年2月より再開しております。一方、細胞加工受託については、インバウンドでの日本の医療サービスを目的とする外国人患者数が高い水準を維持しており、また、国内患者による細胞治療の需要も拡大したことで、細胞加工受託件数が大きく増加いたしました。既契約医療機関からの受託件数の増加と多数の医療機関との新たな細胞加工の委受託契約の締結により、細胞加工施設はフル稼働の状況となっておりますが、広島県の新たな細胞加工施設の稼働が始まったことにより、稼働率が落ち着く見込みとなっております。

この結果、売上高は1,155百万円（前年同期比4.5%の減少）、セグメント利益（営業利益）は313百万円（前年同期比33.6%の減少）となりました。

（２）当期の財政状態の概況

（資産）

当連結会計年度末における流動資産は5,066百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,657百万円増加いたしました。これは主に、東京証券取引所グロース市場への株式上場、及び第三者割当増資に伴う新株式発行による払込等により現金及び預金が1,422百万円増加したことや、原材料及び貯蔵品が121百万円増加したこと等によるものであります。

また、固定資産は3,999百万円となり、前連結会計年度末に比べ820百万円増加いたしました。これは主に、現在建設中の新倉庫に係る建設仮勘定の増加等により有形固定資産が666百万円増加したこと、及び持分法による投資利益98百万円の計上等により投資その他の資産が129百万円増加したことによるものであります。

この結果、当連結会計年度末の資産は、前連結会計年度末と比べ2,477百万円増加の9,066百万円となりました。

（負債）

当連結会計年度末における流動負債は2,487百万円となり、前連結会計年度末に比べ89百万円増加いたしました。これは主に、未払法人税等が57百万円増加したことによるものであります。

また、固定負債は797百万円となり、前連結会計年度末に比べ51百万円減少いたしました。これは主に、中国子会社の賃貸借契約更新によりリース債務が68百万円増加したものの、1年内返済予定の長期借入金150百万円を流動負債に振替えたことによるものであります。

この結果、当連結会計年度末の負債は、前連結会計年度末と比べ37百万円増加の3,284百万円となりました。

（純資産）

当連結会計年度末における純資産は5,781百万円となり、前連結会計年度末に比べ2,439百万円増加いたしました。これは主に、剰余金の配当58百万円があったものの、上述にある新規上場及び第三者割当増資に伴う新株式発行により、資本金及び資本剰余金がそれぞれ827百万円増加したこと、また、親会社株主に帰属する当期純利益794百万円の計上によるものであります。

（３）当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末と比較して1,222百万円増加の2,949百万円となりました。

当連結会計年度の各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は、次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

当連結会計年度において営業活動の結果取得した資金は915百万円（前年同期比91百万円の収入増加）となりました。これは主に、法人税等の支払額201百万円（前年同期比274百万円の支出減少）や、棚卸資産の増加による減少188百万円（前年同期比613百万円の減少）があったものの、税金等調整前当期純利益1,015百万円（前年同期比379百万円の増加）や、減価償却費360百万円（前年同期比61百万円の増加）の計上があったことによるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

当連結会計年度において投資活動の結果支出した資金は1,090百万円（前年同期比513百万円の支出増加）となりました。これは主に、現在建設中の新倉庫を始めとする有形固定資産の取得による支出861百万円（前年同期比298百万円の支出増加）、及び定期預金の預入による支出200百万円（前年同期は無し）によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

当連結会計年度において財務活動の結果取得した資金は1,376百万円（前年同期比1,377百万円の収入増加）となりました。これは主に、新規上場及び第三者割当増資に伴う株式の発行による収入1,653百万円（前年同期は無し）があったことによるものであります。

(4) 今後の見通し

今後におけるわが国経済は、2025年1月～3月の訪日外国人数の累計が過去最速で1,000万人を突破するなど、インバウンドによる消費額が高水準で継続されることが期待されております。特に、日本を訪れる観光客向けのビザの発給要件などが緩和された中国からの訪日が伸びており、日本のインバウンドはさらなる拡大が期待されております。一方、観光地での混雑や騒音といったオーバーツーリズムの問題も深刻化しており、インバウンド成長のボトルネックとなる懸念が残っております。

各種統計データからみると、企業の景況感は総じて良好であるものの、燃料・原材料価格は上昇傾向にあり、また人材確保を目的とした賃金の上昇などもあり、業種によって二極化しております。これらの市場環境から国内景気は一部に弱めの動きもみられますが、緩やかに回復していくと予想されます。

世界経済につきましては、国際通貨基金（IMF）は世界の実質経済成長率を2.8%と予測しておりますが、米国トランプ政権の高関税政策により、米中経済の悪化に加え、各国の輸出の伸び率低下に伴う企業の設備投資も下押しされることが想定されております。

このような経済環境下において、当社グループは、日本や中国、台湾やタイなど国内外で再生医療の研究開発や臨床試験が拡大している他、国内ではインバウンドによるメディカルツーリズムの増加により、自由診療領域での細胞治療や免疫治療が順調に伸びることにより、細胞培養用培地の需要や細胞加工の受託は継続して拡大するものと考えております。新型コロナウイルス感染症関連製品については、ドラッグストア等一般用製品が安定的な需要を獲得していることから、翌連結会計年度も当期と同等の売上が継続することを想定しております。

なお、当社グループが受ける影響として、各国の金融政策により為替動向が不透明な状況となっていることから、為替変動による原料等仕入れ価格や、燃料価格の高騰などの影響が挙げられますが、金額は小さく軽微なものと考えております。

以上より、連結業績予想における売上高は当連結会計年度と比べ472百万円増加の5,679百万円、営業利益は74百万円増加の1,065百万円、経常利益は70百万円増加の1,135百万円、親会社株主に帰属する当期純利益は27百万円増加の822百万円を見込んでおります。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、連結財務諸表の期間比較可能性及び企業間の比較可能性を考慮し、当面は、日本基準で連結財務諸表を作成する方針であります。

なお、今後の国際財務報告基準（I F R S）の適用につきましては、国内外の諸情勢を考慮の上、適切に対応していく方針であります。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当連結会計年度 (2025年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,726,936	3,149,267
受取手形	52,386	34,326
売掛金	685,313	775,086
電子記録債権	205,838	177,201
商品及び製品	246,828	313,323
仕掛品	80,400	90,206
原材料及び貯蔵品	355,782	477,216
未収入金	9,736	13,757
その他	72,636	38,553
貸倒引当金	△26,031	△1,975
流動資産合計	3,409,829	5,066,964
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	1,779,642	1,820,745
減価償却累計額	△641,364	△748,904
建物及び構築物 (純額)	1,138,277	1,071,841
機械装置及び運搬具	911,342	1,010,676
減価償却累計額	△459,805	△606,376
機械装置及び運搬具 (純額)	451,537	404,300
土地	599,172	599,172
リース資産	300,355	277,314
減価償却累計額	△43,073	△60,722
リース資産 (純額)	257,282	216,592
建設仮勘定	7,150	747,036
その他	328,838	414,729
減価償却累計額	△195,502	△200,020
その他 (純額)	133,335	214,709
有形固定資産合計	2,586,755	3,253,652
無形固定資産合計	2,991	27,262
投資その他の資産		
投資有価証券	481,872	581,277
繰延税金資産	36,799	62,759
その他	71,073	74,731
投資その他の資産合計	589,745	718,768
固定資産合計	3,179,492	3,999,683
資産合計	6,589,322	9,066,648

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当連結会計年度 (2025年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	163,470	134,081
電子記録債務	83,147	75,344
短期借入金	1,500,000	1,500,000
1年内返済予定の長期借入金	150,000	150,000
リース債務	52,661	51,229
未払法人税等	56,863	114,136
賞与引当金	63,828	79,840
その他	328,240	382,670
流動負債合計	2,398,213	2,487,303
固定負債		
長期借入金	525,000	375,000
リース債務	242,034	310,307
退職給付に係る負債	42,828	46,000
資産除去債務	38,851	66,214
固定負債合計	848,715	797,522
負債合計	3,246,928	3,284,826
純資産の部		
株主資本		
資本金	426,656	1,253,984
資本剰余金	325,806	1,153,134
利益剰余金	2,528,621	3,265,071
株主資本合計	3,281,083	5,672,189
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,951	3,427
為替換算調整勘定	58,358	106,204
その他の包括利益累計額合計	61,310	109,631
純資産合計	3,342,393	5,781,821
負債純資産合計	6,589,322	9,066,648

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書

連結損益計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)	当連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)
売上高	4,770,096	5,206,287
売上原価	2,888,800	2,840,250
売上総利益	1,881,296	2,366,036
販売費及び一般管理費	1,284,473	1,374,901
営業利益	596,822	991,135
営業外収益		
受取利息	651	1,932
受取配当金	180	300
為替差益	6,223	-
持分法による投資利益	71,726	98,852
受取賃貸料	11,236	11,236
受取手数料	1,403	-
その他	2,339	5,623
営業外収益合計	93,762	117,945
営業外費用		
支払利息	22,872	30,071
為替差損	-	377
支払手数料	29,809	10,353
その他	2,301	2,865
営業外費用合計	54,983	43,668
経常利益	635,601	1,065,412
特別利益		
固定資産売却益	-	1,664
特別利益合計	-	1,664
特別損失		
固定資産除却損	0	603
基幹システム変更に伴う損失	-	51,172
特別損失合計	0	51,776
税金等調整前当期純利益	635,601	1,015,300
法人税、住民税及び事業税	275,670	246,635
法人税等調整額	△25,046	△26,094
法人税等合計	250,623	220,540
当期純利益	384,978	794,759
親会社株主に帰属する当期純利益	384,978	794,759

連結包括利益計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)	当連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)
当期純利益	384,978	794,759
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	283	475
為替換算調整勘定	18,435	47,845
その他の包括利益合計	18,719	48,321
包括利益	403,698	843,081
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	403,698	843,081

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)

(単位：千円)

	株主資本			
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	株主資本合計
当期首残高	426,656	325,806	2,222,777	2,975,239
当期変動額				
剰余金の配当			△79,135	△79,135
親会社株主に帰属する当期純利益			384,978	384,978
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)				
当期変動額合計	-	-	305,843	305,843
当期末残高	426,656	325,806	2,528,621	3,281,083

	その他の包括利益累計額			純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	為替換算 調整勘定	その他の包括利益 累計額合計	
当期首残高	2,668	39,923	42,591	3,017,830
当期変動額				
剰余金の配当				△79,135
親会社株主に帰属する当期純利益				384,978
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	283	18,435	18,719	18,719
当期変動額合計	283	18,435	18,719	324,563
当期末残高	2,951	58,358	61,310	3,342,393

当連結会計年度(自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)

(単位：千円)

	株主資本			
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	株主資本合計
当期首残高	426,656	325,806	2,528,621	3,281,083
当期変動額				
新株の発行	827,328	827,328		1,654,656
剰余金の配当			△58,310	△58,310
親会社株主に帰属する当期純利益			794,759	794,759
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)				
当期変動額合計	827,328	827,328	736,449	2,391,106
当期末残高	1,253,984	1,153,134	3,265,071	5,672,189

	その他の包括利益累計額			純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	為替換算 調整勘定	その他の包括利益 累計額合計	
当期首残高	2,951	58,358	61,310	3,342,393
当期変動額				
新株の発行				1,654,656
剰余金の配当				△58,310
親会社株主に帰属する当期純利益				794,759
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	475	47,845	48,321	48,321
当期変動額合計	475	47,845	48,321	2,439,428
当期末残高	3,427	106,204	109,631	5,781,821

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)	当連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	635,601	1,015,300
減価償却費	299,629	360,974
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	20,023	△24,055
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△12,734	15,657
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	799	3,171
受取利息及び受取配当金	△832	△2,233
支払利息	22,872	30,071
持分法による投資損益 (△は益)	△71,726	△98,852
固定資産売却損益 (△は益)	-	△1,664
固定資産除却損	0	603
売上債権の増減額 (△は増加)	△94,228	△27,134
棚卸資産の増減額 (△は増加)	424,890	△188,744
未収入金の増減額 (△は増加)	△117	△1,919
未収消費税等の増減額 (△は増加)	38,408	2,407
仕入債務の増減額 (△は減少)	3,767	△47,443
未払金及び未払費用の増減額 (△は減少)	47,142	9,037
未払消費税等の増減額 (△は減少)	45,243	15,112
その他	△37,277	83,691
小計	1,321,461	1,143,979
利息及び配当金の受取額	832	2,233
利息の支払額	△23,238	△29,602
法人税等の支払額	△475,375	△201,059
営業活動によるキャッシュ・フロー	823,681	915,551
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	-	△200,000
有形固定資産の取得による支出	△562,554	△861,550
有形固定資産の売却による収入	-	2,297
無形固定資産の取得による支出	△250	△25,946
敷金及び保証金の差入による支出	△16,049	△12,417
敷金及び保証金の回収による収入	1,500	7,040
その他	-	△323
投資活動によるキャッシュ・フロー	△577,354	△1,090,901
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	600,000	1,300,000
短期借入金の返済による支出	△300,000	△1,300,000
長期借入れによる収入	750,000	-
長期借入金の返済による支出	△939,800	△150,000
株式の発行による収入	-	1,653,044
リース債務の返済による支出	△32,413	△53,144
配当金の支払額	△79,135	△58,310
その他	-	△15,557
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,348	1,376,032
現金及び現金同等物に係る換算差額	19,392	21,647
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	264,369	1,222,330
現金及び現金同等物の期首残高	1,462,566	1,726,936
現金及び現金同等物の期末残高	1,726,936	2,949,267

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

1 報告セグメントの概要

(1) 報告セグメントの決定方法

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が経営資源の配分決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは、取り扱う製品・商品及びサービス分野毎に事業部門を分けて事業活動を管理、運営しており、組織細胞用培地の製造・販売を主な事業とする「組織培養事業」、臨床・食品分野の病原菌検査等に使用する微生物検査用培地の製造・販売を主な事業とする「微生物事業」、及び医療機関からの委託を受けて細胞加工を行う「細胞加工事業」の3つを、当社グループの報告セグメントとしております。

(2) 各報告セグメントに属する製品及びサービスの種類

「組織培養事業」は、再生医療や免疫療法の研究用途で使用される無血清培地をはじめとする組織培養用培地を開発、製造・販売しております。

「微生物事業」は、臨床・食品分野の病原菌検査や、医薬品・化粧品など様々な分野の品質検査に使用される多種多様な微生物検出用培地を開発、製造・販売しております。

「細胞加工事業」は、「再生医療等の安全性の確保等に関する法律」に基づき特定細胞加工物製造の許可を取得した施設において、医療機関からの委託を受けて細胞加工事業を行っております。

2 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、連結財務諸表作成において採用している会計処理の方法と同一であります。

なお、セグメント間の内部取引は発生しておりません。

3 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報

前連結会計年度(自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	連結財務諸表 計上額 (注) 2
	組織培養事業	微生物事業	細胞加工事業	計		
売上高						
外部顧客との契約から生じる収益	1,904,442	1,656,346	1,209,307	4,770,096	—	4,770,096
外部顧客への売上高	1,904,442	1,656,346	1,209,307	4,770,096	—	4,770,096
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	1,904,442	1,656,346	1,209,307	4,770,096	—	4,770,096
セグメント利益又は損失(△)	609,236	△69,240	472,022	1,012,018	△415,195	596,822
その他の項目						
減価償却費	69,208	100,420	114,145	283,774	14,549	298,323

(注) 1. 調整額は、以下のとおりであります。

- (1) セグメント利益又は損失(△)の調整額△415,195千円は、各報告セグメントへ配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない管理部門等に係る費用であります。
 - (2) セグメント資産については、事業セグメントに資産を配分していないため記載しておりません。
 - (3) 報告セグメントに対して特定の資産は配分しておりませんが、減価償却費等の関連費用は配分しております。なお、減価償却費の調整額14,549千円には、報告セグメントに帰属しない管理部門に係る減価償却費が含まれております。
2. セグメント利益又は損失(△)は、連結財務諸表の営業利益と調整を行っております。

当連結会計年度(自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	連結財務諸表 計上額 (注) 2
	組織培養事業	微生物事業	細胞加工事業	計		
売上高						
外部顧客との契約から生じる収益	2,268,951	1,781,984	1,155,350	5,206,287	—	5,206,287
外部顧客への売上高	2,268,951	1,781,984	1,155,350	5,206,287	—	5,206,287
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	2,268,951	1,781,984	1,155,350	5,206,287	—	5,206,287
セグメント利益	765,320	441,026	313,229	1,519,576	△528,441	991,135
その他の項目						
減価償却費	83,001	131,384	129,537	343,922	15,746	359,669

(注) 1. 調整額は、以下のとおりであります。

- (1) セグメント利益の調整額△528,441千円は、各報告セグメントへ配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない管理部門等に係る費用であります。
 - (2) セグメント資産については、事業セグメントに資産を配分していないため記載しておりません。
 - (3) 報告セグメントに対して特定の資産は配分しておりませんが、減価償却費等の関連費用は配分しております。なお、減価償却費の調整額15,746千円には、報告セグメントに帰属しない管理部門に係る減価償却費が含まれております。
2. セグメント利益は、連結財務諸表の営業利益と調整を行っております。

(1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)	当連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)
1株当たり純資産額	802.50円	1,131.12円
1株当たり当期純利益金額	92.43円	157.57円

- (注) 1. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。
2. 1株当たり当期純利益金額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)	当連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)
1株当たり当期純利益金額		
親会社株主に帰属する当期純利益(千円)	384,978	794,759
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純利益(千円)	384,978	794,759
普通株式の期中平均株式数(株)	4,165,000	5,044,011

3. 1株当たり純資産額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当連結会計年度 (2025年3月31日)
純資産の部の合計額(千円)	3,342,393	5,781,821
純資産の部の合計額から控除する金額(千円)	—	—
普通株式に係る期末の純資産額(千円)	3,342,393	5,781,821
1株当たり純資産額の算定に用いられた期末の普通株式の数(株)	4,165,000	5,111,600

(重要な後発事象)

該当事項はありません。